

種々

岩木山虹農園便り 53号

発行元 岩木山虹農園
弘前市葛原字大柳 171-1
TEL 090・3757・8174
Email oiwaki2021@outlook.jp
文責 前田 尚人

白露（ハクロ・シラツユ）の季節です。夜の気温が一〇度台になり朝露として結露します。それが光って見える白露、これが秋の始まりです。津軽では八月後半から朝露がよく見られるようになりました。七月、八月は夕方に「稲の露」を見に行きます。田圃の稲を注意深く観察すると、小さい、とても小さい露が葉の先端あたりに浮かんでいきます。これは稲が水を吸っている証拠です。「水は足りていますよ。」と言っていているわけです。水滴が出ている時は入水せず根が深く成長するのを待ちます。これは白露ではなく稲が絞りだした甘い露です。

第五回 配達

茗荷

前回は引き続き、二番取りの茗荷です。日陰で湿気がある場所に植えています。茗荷が生っている所を見ることは、あまりないと思います。



茄子

仙台長茄子 か 真黒茄子
茄子と茗荷のみそ炒め等はいかがでしょう。

南瓜(1/2カット)

かちわり南瓜 か デリシヤス南瓜

オクラ

両方楽しんでください。
八丈オクラ



東京五角オクラ



小松菜

ピッコロシトウ

たまに辛いものがあります。ご容赦ください。

寄居かぶ

扁平の中型のカブです。カブ菜も美味しいです。味噌汁の具、炒めもの、浅漬けにご活用ください。

カルフォルニアワンダーピーマン

玄米味噌

二回目です。トマトを提供できなかったのが心苦しく、皆様の健康を考え、お味噌を追加しました。

今年度の新米について

春から新米のご予約を受け付けていましたが、八月二〇日を持ちまして「予約完売」としました。ご予約くださった皆様、有難うございました。ただ今、予約申し込みの皆様にお断りの返事をしなければならず、申し訳なく思っております。収穫が終わって、いくらか余剰がありましたらまたご案内いたします。来年度から田圃の面積を拡大していく予定になっています。引き続き、食欲をそそる、あっさりした味ササニシキとササシグレを栽培します。

第六回配達予定 九月十二日(金)

予定品目

茄子、枝豆 等

※トマトの実割れが収まらず、出荷できない状態です。申し訳ありません。

風邪をひかない理由

この夏のある日、家族の夕食時に、「いただきます。」と言って箸をとろうとすると、四歳になる孫に「ナオトさん、手を洗ってからたべなさいやいないんだよ。」と言われました。手の指を見ると爪に土が残っていました。そうかそうかと言って手を洗い直しましたが、やはり取れません。妻が「ナオトさんはいんだよ。」とフォローするので孫は納得できない様子でした。母親である娘はしっかりとつけをしているようでした。

さて、家族の中で私だけが風邪を引かないのはなぜか。毎日味噌汁を食べるから？ うすうす気づいてはいませんが、土の菌が原因ではないかなという事です。百姓として五箇所の田圃と、五箇所の畑を行ったり来たりしながらさまざま土に触れています。手は菌だらけ。埃となった土も口に入り、腸内には数万種類、数百兆個の菌が住み分けている。そのため特定の菌やウイルスがはびこることができない。

子どもは野山や田畑で遊ばせたい。自然栽培の田畑は菌類を中心にそこに共生する動植物で満ちています。土がついても舐めても大丈夫という感覚は、身体の健康につながるのではないのでしょうか。

